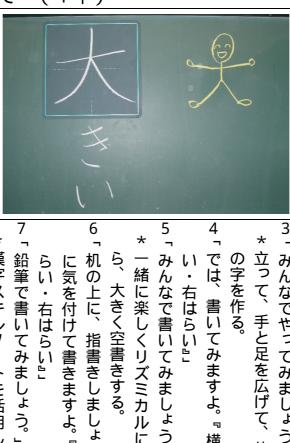
漢字に対する興味や関心を高めるために,具体的な物や絵と漢字の字形を 1 結び付けた指導について (1年)



## 指導の流れ

板書事項】

- 2「漢字は、形からできているのですよ。 1「今日の漢字は、『大きい』です。」 『大』は、人が手と足を広げて、立っ 『大』は、何からできたのでしょうね。 ている形からできたのですよ。」 2
- 3 「みんなでやってみましょうか。」
- \* 立って、手と足を広げて、体で『大』 の字を作る。

4

- 4「では、書いてみますよ。『横・左はら い・右はらい。」
- 5「みんなで書いてみましょう。」 \* 一緒に楽しくリズミカルに唱えなが ら、大きく空書きする。

5

- 6 机の上に、指書きしましょう。 らい・右はらい。」 に気を付けて書きますよ。『横・左は 筆順 7
- 8「『大』が、どんな形からできた漢字か \* 漢字スキルノートを活用し、書いて 練習する。

分かりましたね。

おもしろいです

## 留意点】

- 1 立ちをより意識させて指導できる。 いので、毎回、同じ流れで指導することで、漢字の成り 一年生の漢字は、具体的な形からできているものが多
- 説明をしながら、成り立ちの絵を板書する。
- することで印象付ける。 人の体の動きからできている漢字は、実際に体で表現

3

- 約束は、ずっと使えるので、学級として統一しておく。 左はらい・右はらい」という書き方を表す言葉の (特に、「はね」や「まがり」など) 唱えながら、ます目黒板にゆっくり書いていく。「横
- 学級全体の「しっかり書こう」とする気持ちが高まる。 児童の手の動きを引っ張るような意識をもって行うと、 くことで、児童に筆順と字形を意識付ける。この時、 両方のますのあるものを選ぶと指導しやすい。 師が児童と向き合って、児童と目を合わせながら行い、 空書きでは、教師が腕全体、体全体を使い、大きく書 市販の漢字スキルノートは、なぞり書きと一人書きの
- 8 児童に伝えていく。 結び付いていること』をおもしろいと感じていることを 教師が、『具体的な事物 (実物や絵)と漢字の字形が

## 参考文献

「下村式 唱えておぼえる漢字の本 1年生

(偕成社)